

### 寺内地域包括支援センター寿光園



『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていけますよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことで、離れて暮らすご両親のことでまいりません。「こんなことを聞いても大丈夫かしら?」なんて遠慮もありません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

直通 ☎ 018-853-6300

### 寿光園居宅介護支援事業所



事業所には現在3名の介護支援専門員が地域で暮らしているご利用者の悩みや相談事に応じ、自立生活ができる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり異なりますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積み重ねてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えますので、お気軽にお電話ください。

直通 ☎ 018-893-5761

### 寿光園ショートステイ



ご利用者の心身の状況や、ご家族の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設利用し、日常生活上の支援や機能訓練等を職員が行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者、ご家族のさまざまなご要望に応じ、ショートステイを利用される事で、在宅生活を継続出来るようサービスさせて頂きます。

TEL 018-880-1050

#### 寄付の紹介

寺内社会福祉協議会 様、  
寺内小学区社会福祉協議会 様

寄付金を頂いた皆様、心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

(嘱託職員)

### 介護職員 募集中

お問い合わせ窓口 総務 滝田

TEL: 018-880-1050

詳細はホームページをご覧ください。

#### 編集後記

新型コロナウイルス感染症のクラスターに関して、大変ご心配をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。幸いにも、その後新たな感染は見られず落ち着いた状態で3月を迎えられておりますこと、併せてご報告させていただきます。

雪が解け、日々春に向かっていく今日この頃ですが、これからもご利用者様一人ひとりに寄り添い、笑顔の桜を咲かせていけるよう接していきたいと思っております。  
(広報編集委員一同)



社会福祉法人秋田県厚生協会 高清水寿光園 <http://www.akitaken-kouseikyokai.jp/pages/9/>

## 寿光園の 屋根の下

第144号  
令和5年3月  
発行元  
高清水寿光園



私事ですが時代が平成から令和へと変わる頃、人生初の手術入院を経験しました。  
この仕事をしていまして後輩職員への助言などで、「ご利用者様の立場に立って」と話すことがあります。相手の立場に立って考える、傾聴する、寄り添うことは介護の基本です。初めて患者の立場となった時、ふと、自分は出来ていたのか、長く勤めているうちに疎かになっていったのではと心配になりました。  
入院中に気づいたことは、ベッドに横になっていると足音や物音が普段よりも大きく聞こえることです。身体が動かせない分、音だけが頼りでパタパタと鳴るサンダル音、ワゴンを押す音、ガチャガチャと何かがぶつかる音、遠くの面会者の声、耳を澄ますと色々な音が聞こえてきました。誰かが近づく足音、通りすぎる足音、足音で忙しそうだなと想像できます。ナースコールを押すのもためらいます。もしかして私も気を遣わせていたのではないかと...  
術後の影響で痰が絡み、溺れるような感覚に耐えられずナースコールを押したとき、「どうしましたか」「大丈夫ですか」の言葉は不安なときほど嬉しく、安心感に繋がるものだと実感しました。時々、利用者様が「あ、来てくれた、神様だ。」と手を合わせてくれますが、まさに同じ気持ち

### ご利用者様の目線とは...

高清水寿光園 介護係長 佐藤 あづさ

ちでした。  
寝ている時の目線と立っている時の目線の違い、聞くつもりがなくとも聞こえてくる話し声、見えないつもりが見えてしまう所作、ベッド上の生活は気になることがたくさんありました。声をかけてもらう嬉しさも分かりました。その度に今までの自分はどうだろう、ちゃんとしていたのか、嫌な気分が、気づかないうちに今回自分が感じたようなことをしていたのではないかと反省しました。  
体調の回復とともに、食事の美味しさ、入浴の爽快感、窓越しでも暖かな日差しを浴びると気持ちが良いこと、歩けること、誰かと話せること、楽しみが増えていきました。ささやかでも穏やかに過ごせること、ありがたさが分かりました。  
あれから5年、世の中は大きく変わり、目に見えない感染症に振り回され、制限のある暮らしになりました。生活環境や働き方も変わり、介護の現場も人材の確保や育成も難しくなっています。限られた中で今できることを一つひとつ確実に、介護の基本を忘れず、ご利用者様にも職員にも寄り添える人になれるよう、気持ちを引き締め29年目の春を迎えたいと思います。

# 2東

2階東フロアは男性2名、女性30名の計32名のご利用者が生活されております。毎日の日課として機能訓練も兼ねたエプロン・タオルたたみを談笑しながら行っていただいております。感染予防のため自由に外出が出来ない状況ではありましたが、天気の良い日には園庭を散策して頂いております。今年度の行事として年末のお楽しみ会では利用者とパンケーキ作りを行い、節分の時期では鬼に扮した職員へ豆に見立てたボールを投げるなど、季節に合わせた行事を企画し利用者の皆様の生活の中に笑顔をお届けできるよう実施してきました。これからも、ご利用者が安心して過ごしていただけるよう支援して参りたいと思います。



# 1東

1階東フロアは、ホールが2カ所に分かれており、それぞれビデオ鑑賞を行ったり、ご利用者の状態に合わせて広告折りや塗り絵・エプロンたたみを行ったりしております。歌が好きなご利用者はビデオを観ながら歌ったりリズムを取ったりと、賑やかなフロアです。



## 特 養

### 令和4年度 各フロアの取り組み

2階北フロアは28名のご利用者様が生活されております。毎日午前の日課としてエプロンたたみの軽作業を行って頂いております。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、施設全体ではなくフロア単位での行事の実施となってしまいましたが、ご利用者の笑顔がたくさん見られました。今後もご利用者が笑顔でいられる楽しいフロアにしていきたいと思っております。

# 2北



## 介護の取組

高清水寿光園では、ご利用者が4つのフロアに分かれて生活されております。一番身近でご利用者様と関わるフロアの介護員が中心となり、お一人おひとりに合わせた支援内容を検討し、生活の質の向上と介護員個々のレベルアップを目指して日々取り組んでおります。

コロナ禍により制限の多い生活ではありますが、少しでも楽しんでいただけるよう、穏やかに過ごしていただけるよう支援させていただいております。

1階フロアでは、タオル・食服用エプロンたたみ等の軽作業や、風船バレー・卓上ポウリング等のレクリエーション並びに簡単な体操を通して、日常生活の中で身体を動かし、ご利用者の笑顔を引き出す機会や身体の残存機能の維持に繋がっています。塗り絵が上手な方もおり、フロアや廊下へ飾ると他利用者様からも「上手だ」「綺麗だ」と好評でした。

2階フロアでは、「見る・話す・触れる・

立つ」の4つのコミュニケーションを柱とした「ユマニチュード」という技法を基本支援に取り入れ、継続実施してきました。

ご利用者が心地よく感じる対応を心がけることで、笑顔や穏やかな表情が見られるようになり、精神面での安定にも繋がっていると思われま。

施設全体の年間の活動としては、新型コロナウイルス感染症の流行により今年度も面会制限や各種行事、ボランティア活動等、制限を余儀なくされました。そのような中でも、ご利用者の皆様の生活の中に笑顔をお届けできるよう、月1回の喫茶の開催や季節に合わせた行事を工夫し企画・実施してきました。

感染対策には今後も細心の注意を払いながら、引き続きご利用者皆様の安全で心穏やかな生活の場として、皆様から満足していただけるよう職員一同努めてまいります。

1階北フロアは4フロアの中で唯一ショートステイが併設されているフロアです。タオルやエプロンたたみ等の軽作業の他、チラシを使ってごみ箱作成や季節に合った装飾の作成を行うなど、ショートステイと特養の垣根を越えて活気ある声が響き渡る明るいフロアです (\*^\_^\*)

経管栄養のご利用者様は温かいタオルを使用するなど整容にも気を配り、ベッド上にながらも気持ちよく過ごしていただいております。皆様が穏やかに安心して過ごして頂ける空間を目指しております。

# 1北

